

平塚に来て

平塚は何で有名でしょうか？七夕？それとも旧海軍の弾薬庫？それは古すぎる。平塚は相模川を越えて小田原側なので、湘南か西湘か微妙だ。一応、湘南は逗子から大磯までと広くとってある。今日は、K社の平塚事業所（工場と研究所）がある平塚市をご案内いたします。地形的には相模川の氾濫で広がった砂土の広い平地、そこが平たい塚の平塚。当社がある工業団地はこの相模川ぞいにある。地下水があるのでここに工場が幾つかある。地図によると南は相模湾、北に伊勢原市、厚木市、東に茅ヶ崎市、西に大磯町ある。番号順に巡りたい。



1. 平塚相模川河口馬入公園

春はポピーの一大群落となり、空には雲雀歌い、ローズマリーの垣根ががある。鳥の宝庫でもあり、アオジ、ツグミ、ホオジロ、ガビチョウ、雲雀、カワラヒラがいる。ちょっとした河口のヨシの林が連なっていたりして自然が残っている。ここに根付いた野生のキジがいる。静岡では見ないが、ここ湘南で時々見る。ここには整備された湘南ベルマーレの付属のサッカー場があり、県のスポーツ大会をする。横に大きな体育館もありスポーツのメッカだ。こういう河川の自然とスポーツ楽しむ場所があって幸せだな。



春には土手に桜が満開になり、自転車で朝出勤するとやっとな暖かくなった日差しを浴びてウキウキしてくる。この相模川が北にある厚木基地の海上自衛隊、海上保安庁の航路なので様々な特殊飛行機が楽しめる。富士山も展望できるので、満開のポピー越しの雪の富士山も良いものだ。そう、太宰治の『富嶽百景』に赤いケシの花のような娘さんに頼まれて富士山をバックに写真撮影をお願いした筆者が意地悪に、娘さんにフォーカスしないで富士山をデカデカと撮影した話がのっていた。当時はフィルムだから、帰宅後現像して初めて、あの峠茶屋にいた書生がイタヅラしたことが発覚する。なんともものんびりしている。その文章を青空文庫から拾ってみた。

富嶽百景 太宰治

まんなかに大きい富士、その下に小さい、罌粟けしの花ふたつ。…。どうにも狙ひがつけにくく、私は、ふたりの姿をレンズから追放して、ただ富士山だけを、レンズ一ぱいにキャッチして、富士山、さやうなら、お世話になりました。パチリ。…。

この相模川の馬入公園からK社まで自転車で8分ぐらい。会社に行く前にいくつか茅ヶ崎市にある名所を巡ろう。

2.寒川神社は何を祀る？



この神社は静岡の両親も知っていたから有名ならしい。確かに、ここで鎌倉八幡宮以外で大きな神社といえば、寒川となる。その歴史を初めてネットで調べて見る。

Wikipedia

朝廷からも名神大社として崇敬された。相模国における延喜式内社十三社の中でも、大社とされたのは当社のみである。現在も八方除の守護神として関東一円から参拝者が集まり、正月の三が日にはのべ40万人が初詣に訪れる。

これを読んでもあまりピンとこない。ご利益は八方から来る災いを防いでくれる。福德円満な生活が送れますように。参道に”八福餅”の店があり、名物となっている。柔らかい白い餅にこしあんが掛け布団のように纏わり伊勢の赤福にそっくりだ。

この神社の西に200mほど行くと相模川、ここの寒川浄水場は神奈川の水道水となる。中国語を勉強していた25-35歳時代、仲人が神奈川県企業庁水道局の部長がいた。当時、北京市の水道局から研修にきた中国人5人が、この寒川の水道局の社宅に住んでいた。ある日、そこで水餃子パーティーをすることになり、盛り上がった。その頃は中国語がスラスラ話せ、なつかしい思い出だ。それから北京市の人口が増え、水の使用量も爆発的に増えたと聞いている。

3.大岡越前の墓がある浄見寺

へー、こんな所に、こんな寺があるとは。大岡越前の菩提寺が茅ヶ崎の浄見寺に一族の墓がある。4月に大岡越前祭がある。本当に周りは何もない畑の中の寺だ。近くに新湘南バイパスが走っているが、その間に林があるのが幸いして、騒音も届かず、のどかな



雰囲気だ。庭は手入れがしてあり枯山水の庭が割りと良い。車で来るか、自転車の人がほとんどだ。墓はそれほど大きくないが、写真のように大岡家の方々がわかるようになっていた。

4.K社から見る雪の大山



それでは、相模川のそばにある八幡工業団地の中のK社の平塚事業所に行ってみようと思う。私の両親は車窓から会社を案内したことはある。2016年9月に姉が一度、弟が務める研究所を見てみたいと言うので、イタリア娘と日本の知人の夫婦、合計4人が研究所を見学した。研究所は届けがあればOKなので、不審者でなければ家族の人が来て、見学するぐらいは自由だ。

相模川側に平塚工場があり、道路の西側に研究所、技術開発センターがある。同じ工業団地にあるのが全農の実験場、フルーツカット工場、幾つかの工場、研究所がある。10年前までは全農の広大な実験畑があったが半分を潰してフルーツカット工場と物流施設になった。そう、相模川に圏央道ができ、首都圏への交通手段が格段によくなったので、ここ、平塚に工場を作ったのであった。圏央道は本当に便利です。

完全な工業団地なので、土日はめっきり人気（ひとけ）がない。Kの研究棟から遠くに富士山が見える。丹沢の大山はかなり近く見え、四季おりおりの風景が楽しめる。春の青い山、夏の入道雲、秋の紅葉、冬景色。大山は自然を感じる山だ。写真は研究所の屋上から初冠雪の大山。

6.湘南平から見る東京

平塚から金目川（かなめ）を渡ると大磯町だ。川を渡るとすぐに小高い丘のような山が連なっている。ここが高麗山（こうらい）、別名湘南平だ。金目川越しに見る高麗山が、東海道53次の平塚宿の風景となった。割と広く、平塚側から登山口があり、登り始めこそ急だが15分ほど頑張れば、尾根に出て、遠方に富士山を眺めながら湘南平のテレビ塔まで歩く。展望台に登り相模平野を独り占めしたあと、大磯駅まで下るルートが定番のコースだ。正味1時間、写真を撮りながら1時間20分



ぐらい遊べる。冬の朝、天気が良く、空気が澄んでいれば大島から伊豆七島やスカイツリーも望むことができる。尾根の中程に彼岸花の群落があり、動植物が豊だ。箱根駅伝の時は日本テレビがテレビ塔にカメラを設置して中継している。高麗山の由来は”江戸時代まで高麗寺という寺が山中にあり、現在の高来神社も高麗神社として寺内にあった。”とある。

7.大磯のアオバト（神奈川県天然記念物）

アオバトの存在を知ったのは、2013年の夏でした。ネットで大磯のアオバトの記事が掲載され、初めて見るオリーブ色の鳩、オリーブ色なのか青色なのか？。



アオバトは全国に分布しておりますが、ここ大磯のアオバトは丹沢の方から飛来し、海の上を飛び、照ヶ崎の岩場の窪みの海水

を飲む珍しい生態だ。大抵10-15羽の集合で飛来し、岩場いるが、波がくると一齐に飛び頭上を一周してまた岩場に降りる。海岸から30-50mぐら離れた所の岩場に降り、カメラマンが大勢写真を撮っている。この海岸は小石の海岸で小田原の酒井川から運ばれる石だ。弧を描く海岸線の向こうに富士山がそびえている。アオバトの体はオリーブ色で首筋に赤い斑点がある。鳴き声はない。



この海外は”[こゆるぎ海岸](#)”といい、古くは小湊(こゆるぎ)の浜といわれた砂礫の美しい海岸で、さざれ石とよばれる様々な色をした小石が楽しめる。ザクザクと小石の海岸を歩くのも気持ちいいが良い。

8.滄浪閣（そうろうかく、大磯の旧伊藤博文邸）

ちょっと高級中華料理を出す店として、私が入社した1982-1990年頃は接待や慰安会で使っていた。寮にいた28歳頃、中国の東北地方のS公司から研修生一行が来た時、寮長をやっていた。中国御一行の歓迎会をここ、高級中華レストランで通訳の真似事をして友好を深めた。由来の説明をみると以下の記述がある。ここ大磯は文化、政治に活躍した名士の別荘があり、一角には旧東海道の松並木が連なり情緒がある。

伊藤博文の建てた洋館で、現在は西武鉄道が所有する。

1954年から大磯プリンスホテルの別館として営業していたが、2007年頃に経営不振により閉業。

大磯を過ぎると次は二宮。菜の花畑越しに見る雪化粧の富士山が撮影できる吾妻山がある。

9.絶景の相模湾と富士山

ここ湘南は日当たりが良いので、南面は1月に、もう菜の花、水仙が咲いている。菜の花は早ければ、年末から楽しめる。二宮駅からジョギングで15分ほど小田原方面に走ると右手に吾妻山登山口がある。10分も昇ると小さな神社があり、手を合わせて、頂上まで5分で到着。小高い吾妻山の芝生の原っぱに出る。わー見晴らしが良い。一角に菜の花畑があり、左手に青々とキラキラ輝く相模湾、向こうには伊豆半島、箱根の山々をたどって、右にカメラをふると黄色い菜の花越しに白い霊峰富士山が見え、”おおー”と感嘆符を入れて、さらに右にレンズをむけると西丹沢山塊、そして大きく信仰の大山が見える。360度、神奈川の景色を楽しむことができる実に見晴らしがよく、清々しい。ここに外人を連れて来たら一発でイチコロになる、そんな名勝だ。写真撮影なら朝9時前までだ。冬でも気温があがると池面からの水蒸気で空気が白濁りして、透明度が落ちる。1月初旬から菜の花、下旬は水仙も咲いて、良い匂いだ。大好きな場所だ。



この写真をみて、一句。

「菜の先に、白富士望む、相模湾」

おわり